

# アイデア商品開発の「超発想」

## 書見台を商品化

「読書  
楽々」めくったページ戻らない

(有)清水電設Ⅱ東御市県Ⅱの清水計芳社長は、アイデア商品開発部門の「超発想」を立ち上げ、書見台「読書楽々」を商品化した。上田市常磐城の戸田書店上田店で販売を開始した。

プラスチック製で、長さ35cm、幅7cm。机上などに置き、スライド式の透明板(押さえ

板)に開いた本をセツ

トし使用する。文庫本

からマニユアル本、フ

アッション誌などあら

ゆる大きさを厚さの書

物に対応できるうえ、

めくったページが戻ら

ないので手で押さえる

必要がない。資料を見

ながらのパソコン操作

やレシピアを見ながらの

調理などにも便利。

清水社長は4年前か

「読書楽々」に本をセツトする清水社長



書見台「読書楽々」

ら同商品を考案開発。何度も試作品を作り、安定感と使い勝手のよさを追求。試行錯誤のすえ昨年10月、4年がかりで完成させた。商品化にあたり、同市田

中(株)信越精密(内山三男社長)が金型も含め全面的に協力。特許も取得し、同書店での販売につながった。イ

ンターネットでも販売し、評判は上々という。清水社長は「周囲の皆さんの応援でここま

でこぎつけた。自分の考案した物が世の中に通用したことがうれし

い」。県発

明研究会上

田支部に所

属。書見台

以外にも、生活に便利

な品を多数生み出して

いる。「アイデアはいつ

も頭の隅に置いている。

携帯用の書見台も実用

化したい」と意欲を燃やしている。TEL 63・7

411超発想